



## 新見産の世界三大珍味「キャビア」

～ 新見市におけるチョウザメ養殖の取組 ～

新見市では、「千屋牛」、「ピオーネ」、「キャビア」、「ワイン」を新見A級グルメと位置づけ、ブランド化に向けた取組を進めています。このうち、世界三大珍味のひとつである「キャビア」について、チョウザメ養殖や商品化の取組を紹介します。



(キャビア)

### ★ 取組の経緯

新見漁業協同組合は、長年、アユやニジマスの養殖事業に取り組んでいましたが、アユの価格低迷等により、平成10年頃から魚種切り替えの検討を始めました。

同組合の川内組合長によると、この頃、研修旅行で訪れた養魚場でチョウザメに出会ったことが取組を始めたきっかけになったそうです。

当時、国内の取組事例が少なく、商品化までに歳月がかかりリスクも高いことなどから、組合内の反対もありましたが、平成12年に2,000匹の稚魚を導入し、チョウザメの養殖事業をスタートさせました。

### ★ チョウザメ養殖と商品化

養殖しているチョウザメ（バステル種）は、稚魚導入後3年目に雌雄判別を行い、卵が採れる成魚（雌）になるまで延べ7年の養殖期間が必要です。特に、稚魚導入後1年間は病気や水温の変化に弱く、養殖技術が確立するまでは苦労の連続だったそうです。

同組合では、成魚（雌）となったチョウザメを活魚で販売していましたが、大手百貨店からの要望を受け、キャビアとして商品化することとし、平成23年に瓶詰めキャビアの販売を始めました。商品化されたキャビアは、素材の味を最大限に活かすため、塩分控えめなのが特徴です。



(養殖場)



(チョウザメの稚魚)

### ★ 今後の取組

昨年11月、チョウザメの養殖、キャビアの加工販売等の事業は、同組合からMSファーム株式会社に譲渡されました。

同社では、当面、養殖技術の確立と規模拡大を実現し、地元の方々や新見市を訪れた観光客にキャビアを提供することを目指しています。

新見市が推進する新見A級グルメの1品として、今後より一層、チョウザメ養殖の取組が地域貢献につながることを期待されます。

## 「牛乳が好き。」MILK●JAPAN中国四国フォトコンテスト2016 作品の募集について

毎年6月は「牛乳月間」です。これに合わせて消費者を対象とした「フォトコンテスト」を実施します。牛乳を飲む、乳製品を食べる、あるいは乳牛とふれあうなどのテーマに沿った作品の応募をお待ちしております。

### ★募集テーマ

- 「牛乳・乳製品の部」  
牛乳を飲んでいる（又は乳製品を食べている）写真
- 「乳牛とのふれあいの部」  
乳牛・酪農とふれあう写真

### ★応募対象者

- 中国四国地域在住の方

### ★応募規定

- 応募者本人が撮影した未発表作品に限ります。
- 応募点数は各部につき、それぞれ2枚までとします。
- 人物が被写体となっている場合、被写体の了解を得たものに限ります。
- 商品を特定できるものは審査対象外とします。

### ★募集期間

- 平成28年6月27日（月曜日）～9月30日（金曜日）当日消印有効

※詳しくは、こちらをご覧ください。

[http://www.maff.go.jp/chushi/press/se\\_chikusan/160627.html](http://www.maff.go.jp/chushi/press/se_chikusan/160627.html)



(2015年 最優秀賞作品)



(2015年 最優秀賞作品)

\* 問い合わせ先  
生産部畜産課  
TEL:086-224-4511  
(内線2451)

## 「平成27年度食料・農業・農村情勢報告」を公表しました

中国四国農政局は、中国・四国地域の食料・農業・農村に関する総合的な報告書として「中国四国食料・農業・農村情勢報告」を作成・公表しました。

平成27年度情勢報告は、巻頭において、環太平洋パートナーシップ（TPP）協定交渉、食料・農業・農村基本計画や、地理的表示保護制度（GI制度）等この1年間の特徴的な動きをトピックスとして紹介しています。

また、第1部の特集編では、「農業高校との新たな連携にむけて」と題して、農業高校独自の取組を事例として紹介するとともに、農業高校に対し実施したアンケート調査等によって、農業高校の現状・課題を整理し、農業高校との新たな連携のあり方についてまとめました。

さらに、第2部の動向編では、中国・四国地域の食料・農業・農村の最近の動向やそれをめぐる問題点を明らかにするとともに、各種の統計データ、各地の取組事例やその効果、中国四国農政局の施策等を紹介しています。

- ・ 詳しくは農政局のホームページをご覧ください。

[http://www.maff.go.jp/chushi/hakusyo\\_josei/houkoku/h27josei.html](http://www.maff.go.jp/chushi/hakusyo_josei/houkoku/h27josei.html)

問い合わせ先 中国四国農政局企画調整室 TEL:086-224-4511 (内線2117、2125)

編集: 中国四国農政局 岡山県拠点

〒700-0985 岡山市北区厚生町3-2-6 厚生町庁舎

TEL(086)223-3131(内線203) FAX(086)232-4609 <農政局HP> <http://www.maff.go.jp/chushi/index.html>

◇各種メールマガジンを配信中(登録はこちらから) <http://www.maff.go.jp/chushi/mailm/index.html>